

## 資料 6 - 4

補助 315 号線連絡通路部の  
換気・観測用人孔内の補修について

# 補助 3 1 5 号線連絡通路部の換気・観測用人孔内の補修について

## 1. 換気概要

- 1) 空気の吸引は基準値を超過した結果が出た①、②、⑤で同時に行った。
- 2) 空気の吸引は、1つの観測用人孔内にある3本の管より行った。
- 3) 空気の吸引時は③、④、⑥は解放させ空気が流入するようにした。

換気状況写真  
(観測用人孔②)



## 2. 換気対象および時間

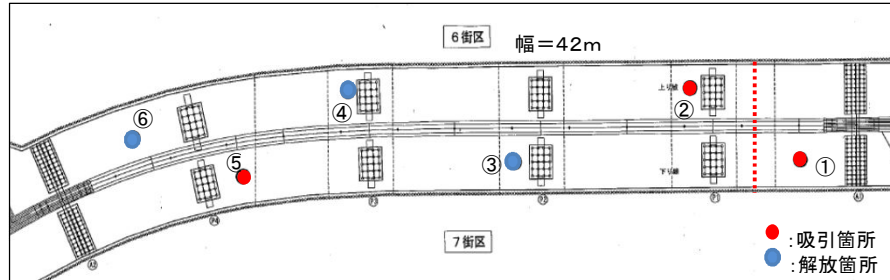
- 1) 舗装および上部砕石層を対象 (t=500mm) にして換気を実施した。
- 2) 換気を5日間連続実施後に、大気測定 (24時間) を行った。  
[換気5日間と大気測定 (24時間) は繰り返し実施]

## 3. 観測用人孔内の浸水原因

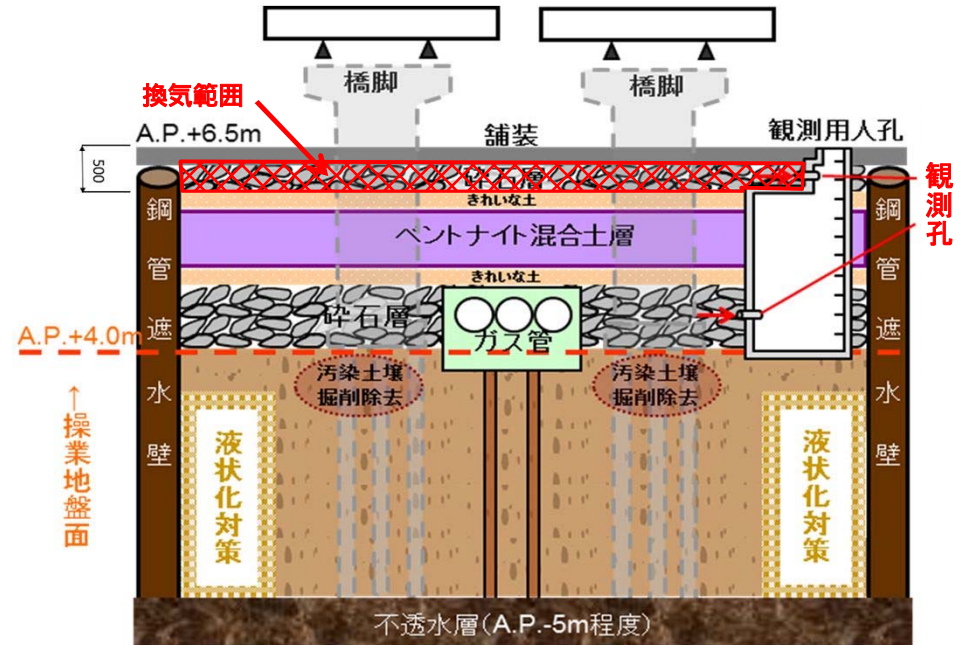
調査の結果、浸水経路として3箇所であることを把握した。

- 1) 採取管からの浸水
- 2) 採取管まわりからの浸水
- 3) 観測用人孔底版と直壁の接合部からの浸水

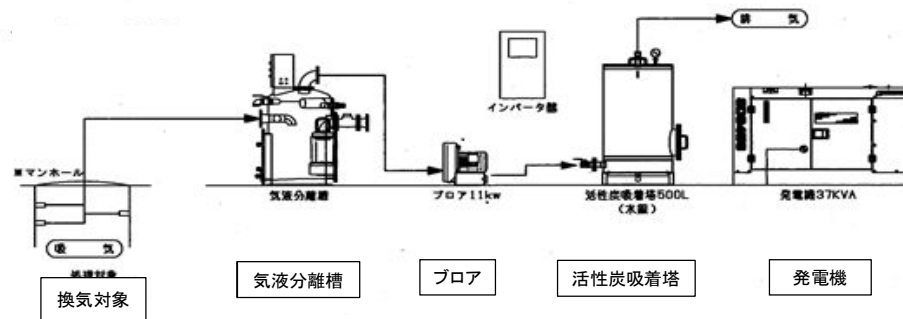
## 4. 換気箇所平面図



換気範囲イメージ図

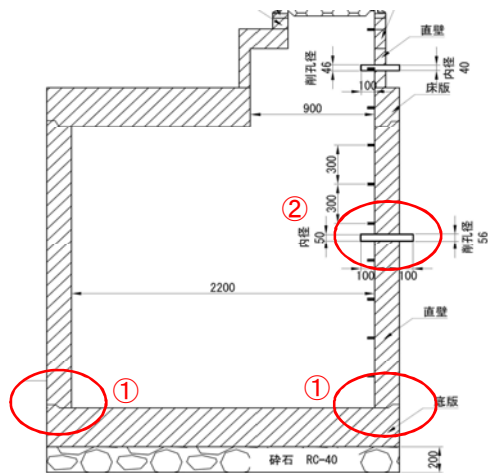


機械配置概要図



# 観測用人孔補修内容

## 1. 漏水時の状況



① 底板部

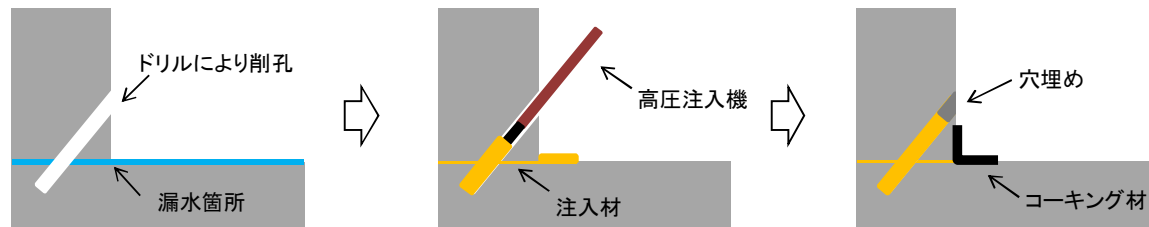


② 採取管部



## 2. 漏水箇所補修状況

### < 底板部施工フロー >



1. 漏水箇所を貫通するようにドリルを用いて穴を開ける



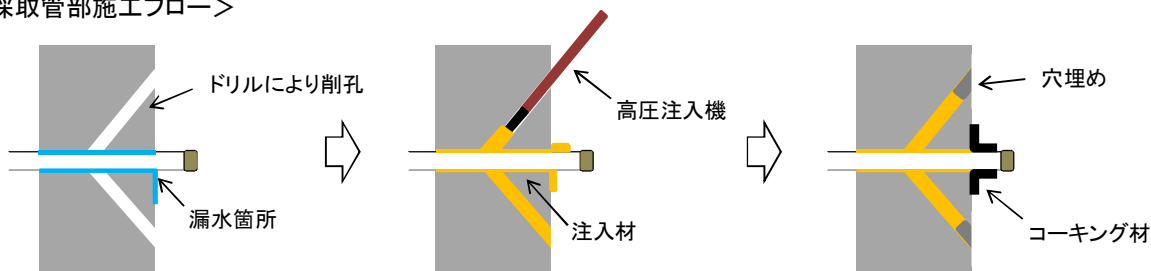
2. 高圧注入機を用いて、注入材を圧入



3. コーキング材を設置



### < 採取管部施工フロー >



1. 漏水箇所を貫通するようにドリルを用いて穴を開ける



2. 高圧注入機を用いて、注入材を圧入



3. コーキング材を設置

